

## 令和7年度 第2回区政会議議事録

(澤田事業調整担当課長)

- ・それでは改めまして、ただいまから、令和7年度第2回西区区政会議を開催いたします。私は、進行を担当いたします、西区役所事業調整担当課長の澤田です。よろしくお願いいたします。着座させていただきます。
- ・それではまず、本日の出席状況でございます。信達委員、杉本委員、谷井委員の3名から、所用により欠席される旨事前にご連絡をいただいております。また、大藤委員、名村委員はご都合により途中から参加される予定です。まだお着きでない委員もいらっしゃいますが、定数21人の2分の1以上出席されておりますことから、本会は成立していることを申し上げます。
- ・議事に入ります前にお願いがございます。区政会議は公開が原則となっております。議事録作成のために録音をさせていただきます。加えまして、記録用として、職員がカメラ撮影を行います。
- ・また、西区区政会議の運営に当たりましては、大阪公立大学の皆様にご協力いただいております。各テーブルで、後程のグループ討議のご意見を発表していただく他、地域活動に係る研究の一環として皆様の話し合いに参加させていただきますので、ご了承願います。
- ・その他会議全体の様子を動画撮影し、後日Y o u T u b eにより配信いたします。動画にお顔が映ることに抵抗があるという場合などは、動画編集の際に配慮させていただきますので、区役所職員までお知らせ願います。それでは開会にあたりまして、三村区長からご挨拶申し上げます。

(三村西区長)

- ・皆さんこんばんは。区長の三村でございます。本日夜分遅くまたお忙しい中このようにご参加いただきまして本当にありがとうございます。ただいまから本年度第2回の区政会議を開催させていただきます。
- ・今回の開催にあたり、新たに一部メンバーが変更になりまして、新しく委員に就任いただく方が全部で12名いらっしゃいます。12名の皆さんにおかれましては、これから2年間どうぞよろしくお願いいたします。また、前期から継続の皆様におかれましては改めてよろしくお願いいたします。
- ・さて私が着任以来「盛り上げましょうと」、「行きましょうと」とずっと言い続けてきた大阪・関西万博ですが、本当に大成功で閉幕を迎えることができました。これも本当に皆様方のご理解とご協力のおかげだというふうに理解しております。これからは万博が残してくれたものをレガシーとして、社会生活に実装していけるよう私どもも頑張っていきたいと思っております。

皆様方も万博に行かれて感じたこと、考えたこと、こういったものをご自身の生活の中にぜひ取り込んでいただけたら非常にありがたいというふうに思っております。よろしくお願いいたします。

・それから本日の区政会議ですが、来年度の運営方針と予算について皆様からご意見を頂戴したいと思っております。グループ毎にテーマが分かれています、テーマについては各グループの職員から一通り説明をさせていただきます。不明な点とか疑問に思った点等あれば、その場でご確認をいただければと思います。活発なご議論をいただいてご意見を様々ないただけたら非常にありがたいというふうに考えております。

・それから最後になりますが、私も区長4年の任期でもう3年半が過ぎて残り5ヶ月弱ということになりました。区政会議も今回と年始に予定している分との2回だけになります。少し寂しいところもありますが、しっかり運営方針、そして予算を作って後任の区長に伝えていきたいと思っております。それをつくり上げるにあたって皆様のご意見というのが本当に私にとって重要で貴重です。今日もまたいろんなご意見をいただけるのを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。以上私からの開会にあたってのご挨拶というふうにさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(澤田事業調整担当)

・本日は2年に1度の委員改選後の初めての会議でございます。本来であれば、委員の皆様、区職員をお1人ずつご紹介すべきところではありますが、1度に全員のお名前を覚えていただくのも大変かと思っておりますので、原則として後程のグループ討議の際に、テーブルごとにお名前など、自己紹介の形をお願いしたいと思います。

・それでは続きまして、本日の会議資料の確認です。お手元ご確認ください。まず会議次第。区政会議委員の名簿。資料1としまして、委員の事前意見への回答と資料1の別紙です。続きまして資料2、グループ討議用資料。資料3、区政会議委員アンケート集計結果。資料4、令和7年度第1回教育会議結果報告。資料5、大阪公立大学からのお知らせ資料となっております。以上の資料、そろっておりますでしょうか。もし途中ででも資料が不足しているということであれば、お近くの区職員までお知らせください。加えて本日は、継続いただく委員の皆様には、区政会議の基本資料となる緑のファイルをご持参いただきますようお願いしております。本日から新たに西区区政会議にご参加いただく委員の皆様には、受け付けの際にお渡ししております。この緑の資料中、資料5、6の令和7年度西区運営方針、及び資料7の令和7年度西区予算算定額を、議論の材料として、後程使用いたします。

・さて、ここから議事に移り本来なら議長に議事運営をお願いすることとなりますが、今回は新たなメンバーでの初の会議でございますので、議長・副議長を選出していただく必要がございます。

それまで、私が進行させていただくということによろしいでしょうか。

<一同 了解>

・それではまず議長の選出です。初めて顔を合わせる方も多いと思いますが、どなたか立候補または推薦はございませんでしょうか。

<川野委員を議長に推薦する声>

ありがとうございます。ただいま川野委員を推薦するというお声をいただきました。他にございますでしょうか。それではただいま、前の任期も議長をお務めいただきました川野委員を議長にというご推薦をいただきましたが、皆様、それによろしいでしょうか。賛同の委員の拍手をお願いできればと思います。

<一同 拍手>

ありがとうございます。それでは、川野委員に議長をお願いしたいと存じます。川野委員は議長席へお移りいただきますようお願いいたします。

・続きまして、副議長を選任いただきます。こちらも立候補、ご推薦はございませんか。いかがでしょうか。

<坂本委員を副議長に推薦する声>

・ただいま坂本委員を副議長にというご推薦をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。

<一同 拍手>

ありがとうございます。それでは、西区民生委員・児童委員協議会会長の坂本委員に、副議長をお願いしたいと思います。それでは坂本委員は副議長席へお移りください。恐れ入りますが資料もお持ちいただきますようお願いいたします。

・それでは、川野議長、坂本副議長の体制で、今後区政会議を進行させていただきます。それぞれ一言ご挨拶をちょうだいしたいと思いますので、よろしくようお願いいたします。まず、川野議長からお願いします。

(川野議長)

・皆さんこんばんは。大阪公立大学の川野と申します。初めての方は是非よろしくお願いたします。前期に引き続き議長を務めさせていただくことになりました。前年から引き続き、私たち大阪公立大学文学部 社会科学教室のメンバーがテーブルについて皆さんのお話を聞いて勉強させていただきたいと思います。色々つたないこともあるかと思いますが、失礼なことがありましたら申しわけありませんが温かい目で見守っていただければと思います。是非ともよろしくお願いたします。

・私たち大阪公立大学文学部はちょうど10月新たに杉本から森之宮キャンパスに移りました。森ノ宮から西区役所まで、もう本当に10分ぐらいで来ることができ、以前に比べると近所になってすごく通いやすくなりました。

・森ノ宮キャンパスは非常に景色のいいところで、大阪城も真正面に見えます。いいところに立地しておりますので、是非皆さん、お近くですのでまた寄っていただければというふうに思います。今後ともぜひよろしくお願いたします。ありがとうございました。

(澤田事業調整担当課長)

では続いて、坂本副議長、お願いたします。

(坂本副議長)

・皆さんはじめまして。ただいまご推薦いただきました、西区民生委員児童委員協議会会長の坂本でございます。初めてですので何分不慣れですが、皆さんご協力のもと、進めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。ありがとうございました。

(澤田事業調整担当課長)

・それではここからの進行は川野議長にお願いしたいと存じます。議長よろしくお願いたします。

(川野議長)

・それでは、早速お手元の次第に沿って進めて参りたいと思います。夜間の会議でございますので9時を目途に進めて参りたいと思います。皆様のご協力をお願いたします。

・まず次第の4、議題の1番目になりますけれども委員事前意見への回答について区役所から説明をお願いします。

(澤田事業調整担当課長)

・ではお手元の資料1をご覧ください。私から説明させていただきます。事前に委員の皆様には、予算や運営方針、その他、自由意見として何かご意見があればということで募っておりまして今回3件の意見をいただいております。

・では順に説明させていただきます。1番目、予算算定についてです。

「地域コミュニティの活性化に多くの予算がついています。地域活動協議会の補助金について、地域の皆さんが関心を持てるよう、もう少し成果などがわかる形で共有していただけたら嬉しいなと感じています。特に、どのような目的で、どんな成果があったのかという点を知ることで今後の地域づくりも参考になりますし、参加のきっかけにもなると思い

ます。もし可能であれば、予算の概要や実績報告などを区政会議などで少しご紹介いただける機会があるとありがたいです。」という意見です。

・これに対しましての西区の考え方が右側でございます。

「各地域活動協議会の補助金の使途については、大阪市での取り扱いにより、地域活動協議会ごとに事業計画を報告し、収支予算決算を区役所のホームページに公表しております。

また、地域活動協議会の活動状況、イベント等の事前告知については、広報紙はもとより、ホームページやSNSにおきましても周知に取り組んでいるところです。さらに区役所やまちづくりセンターの支援等により、各地域活動協議会みずからがホームページやSNSにおきまして、イベント告知等、様々な周知に取り組んでいます。」という回答です。

・また、今回いただきましたご意見を踏まえ、区政会議委員の皆様にも地域活動協議会の予算概要等の情報を共有するため、資料を作成いたしました。別紙をご覧ください。

令和7年度地域活動協議会補助金申請額ということで、西区の地域活動協議会全地域の合算の金額となっておりますが、それぞれどういった活動分野に、どういった事業を行って、それについて、どれぐらいの金額がかかっているかというものを取りまとめた資料でございます。下段には地域活動協議会を支援する事業、区役所が取り組んでおります、まちづくりセンターの事業について、概要を記載させていただいております。具体的に各地域でどういった事業をどれぐらいの金額をかけてやっているのかということは、またホームページをご覧くださいましたら掲載しておりますので、ご自身の地域などで、どういった事業やっているかまたご覧いただけたらと思っております。また、この内容につきましては、後程グループ討議などで何かご意見ございましたら、仰っていただければと思います。

・では資料1に戻ります。2点目の自由意見です。

・「最近地域の小学生や保護者の方から、子供が自由に安心して遊べる場所が少ないという声をよく聞きます。特に雨の日や猛暑日など、外での遊びが難しい時期には、子供だけで行ける屋内の遊び場がほとんどないことが課題に感じられます。未就園児の室内で遊べる広場は大変充実していると感じますが、幼稚園、小学校、中学校の子供たちの居場所が少なく感じます。公園など、屋外施設はあるものの、ボール遊びが制限されていたり、天候の影響を受けやすかったりするため、気軽に立ち寄れて安全に遊べる屋内の居場所や、自由に使える室内スペースのような環境が求められていると思います。そこで例えば、学校施設の活用や、地域会館の一部開放など、天候に左右されない子供の遊び場のあり方について今後ご検討いただけるとありがたいです。子供たちが笑顔で安心して過ごせる場所が地域にあることは、保護者の安心にも繋がりますし、地域全体の活力にもなると考えています。」というご意見です。

・これに対します、区役所の考え方です。

「地域の子供たちが安心して自由に遊べる場所が少ないとのご意見については、西区とし

でも重要な課題であると認識しております。現在、西区では、スポーツ基本法の趣旨に基づき、地域コミュニティの発展に寄与することを目的として、西区学校体育施設開放事業を実施しています。この事業では、地域の団体等が学校の体育館や運動場を活用し定期的なスポーツ活動を通じて、健康の増進や世代間交流を図るなど、児童生徒を初め、地域の皆様にご利用いただいております。ただし、本事業はスポーツ活動を目的としたものであり、子供たちが自由に遊ぶための常設的な屋内スペースとしての活用は想定されておられません。一方で、地域集会施設につきましては、地域により維持管理運営等をいただいております。区役所で把握しておりますのは、未就学児等の子育てサロンとして開放されていることですが、区内の各集会施設につきましてはスペースや安全管理等の観点から地域会館での展開は難しいと考えます。スペースの確保や取り組みの運営母体といった課題もあるため、様々なアイデアをいただきたいと思います。」というものです。

・では最後の3件目でございます。

・「九条東小学校の跡地は西区にとって重要な財産なので、活用方法については様々な世代、立場の人が意見を出し合い、商業的な活用にとどまらず、地域コミュニティのハブとなるような使い方ができるようにしていただけると嬉しいです。ぜひ区政会議でも活用について取り上げていただきたいと思います。また、区政会議だけでなく、九条東小学校と周辺地域を大切に思う人たちにとって、開かれた話し合いの場を作っていただくことを希望しております。」というご意見です。

・これに対する区役所の考えです。

・「九条東小学校の跡地については、九条東地域活動協議会が推薦される方を中心に、学識経験者も含めて構成される再編整備後の九条東小学校校地活用検討会議において活用方法を検討しているところです。また、その検討の経過等については区役所のホームページでも広く公開しております。いただきましたご意見を踏まえ、今後、同会議において話し合いの進め方等についても協議して参ります。」というものです。いただいたご意見への回答は以上となります。

(川野議長)

・ただいまの説明につきましてご質問などございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

・そうしましたら続いて議題の2、グループ討議に進んで参ります。本日は各委員が日頃感じる区政及び地域の課題について、まずは共有をいただいた上で、令和8年度、西区運営方針及び予算への反映も念頭に課題解決に向けた対応について意見交換いただきたいと思います。

・一方で区役所は本日の議論結果を踏まえて令和8年度の運営方針及び予算の案を策定し、次回1月に予定している第3回の区政会議で、区政会議委員に示すという流れになっております。

・意見交換は事前にご希望もお聞かせいただいた4つのグループに分かれて実施いただき

ます。それではこの後テーマ別のグループに分かれていただきご議論いただきたいというふうに思いますけれども、具体的な議論の方法などについては区役所から説明をお願いします。

(澤田事業調整担当課長)

- ・では続きまして私から説明させていただきます。
- ・今回のグループ討議については、新メンバーで初めての機会となりますので、先ほどお伝えしました通り、まずは、テーブルごとにお名前と、何か一言自己紹介をお願いします。学生の皆様もお名前と、一言ご挨拶いただけたらと思います。進行役は区役所の職員が行います。
- ・続いて10分から15分程度で、各グループのテーマに関する区政の取り組みなどについて、緑のファイルの資料をもとに区職員から簡単に説明させていただきます。
- ・その上で、来年度の運営方針、予算を策定するにあたって、広くご意見をいただければと考えております。
- ・また、同じエリアで一斉に議論を始めるとどうしても周囲の声が気にかかると思われるので、お手数ですが子育て教育グループと広報・窓口・ICTグループは別の会議室に移動していただき、グループ討議終了後にこちらにお戻りいただきます。
- ・移動は区役所職員がご案内いたしますので、子育て教育グループと広報・窓口・ICTグループの皆様はご協力お願いいたします。
- ・討議時間は自己紹介等を含めて、おおよそ1時間10分程度を予定しております。また討議時間のうち最後の5分間でグループごと、西区役所の職員が討議の全体的なご意見概要等を確認させていただきます。
- ・その後、大阪公立大学の皆様から、各テーブルでのご意見内容を発表していただきます。グループ討議の進行方法について、何か疑問点等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それではこれから、テーマごとのグループに分かれていただき討議、意見交換をお願いいたします。よろしく申し上げます。

## <グループ討議>

(川野議長)

- ・会議を再開いたします。各グループでの意見などをお聞かせいただきたいと思います。では各グループ5分程度での報告を、学生の方からお願いします。
- ・まずは地域コミュニティ・防犯・防災グループからです。お願いします。

(コミュニティ・防犯・防災グループ発表：発表者 公立大生)

・地域コミュニティ・防犯・防災の班では、地域コミュニティの活性化と、防犯防災のことについて議論しました。

・まず地域コミュニティに関しては、やはり町会の話が主に上がっており、町会に参加していない人が多い、そのマンション内で町会に参加していない人が多いマンションがある、町会に参加しているけど町会で何をやっているか、どういうふうにお金が使われているかについてあまり情報が入ってこない、わからない、といったことが課題として挙げられていました。

・地域もホームページや広報版等で情報の発信はしてはいますが、自分が生活している中で情報を取りに行かないと、情報を得ることが難しいところが課題として挙げられていました。

・そういうコミュニティの中で、町会に入ってよかったこととか、こういうイベントが楽しかったよとか、そういうことがコミュニティの中でどんどん人づてに伝わっていくというのが一番効力があるのではないかという意見が上がっていました。

・チラシを配るとか、そういう活動よりもコミュニティー内でそのプラスの情報、防犯灯であったり、避難所の運営とか、そういうところに町会費が使われているということをどんどん伝えていくことがいいのでは、という話が出ました。

・普段自分が、実はそういうふうには町会費の恩恵を受けているということを知らない人がかなり多いということで、周知していくことも大事だという話が出ました。

・そして防災に関しては、やはり南海トラフのこともあって、自主防災組織を自助共助でできる状態にしておかないといけないということがあって、災害時には周りの人と協力しないといけないので、さっきの話にも繋がってくるのですが、町会などで人同士の繋がりが普段からあった方が、災害時も助かるのではないかという話が出ました。

・さっきの話に似ているのですが、プラスの活動であったり、楽しい活動がある方が取っつきやすいというか、普段の活動に参加しようと思う方がいるのでは、という意見の一方で、やはり災害となると危機感というか、町会に入らないとやばいなっていう気持ちを持ってもらうことも、命に関わることなので大事なんじゃないかっていう意見もあり、この2つを両立できるような取り組みができればいいな、という話になりました。以上です。

(川野議長)

・では区役所から何か補足などございますでしょうか。

(藤原地域支援課長代理)

・失礼します。地域支援課の藤原と申します。このグループは新任の委員の方ばかりにもかわらず、すごく問題意識を持って参加していただき、それぞれの立場から今感じていることやこれからこういうことをやったらよくなるなあ、ということを積極的に発言いた

できました。本当にありがとうございます。

・その中で、学生の方に説明いただいた通りなのですが、気づきとしては、やはり楽しい話は広がると。また必要な課題についても「これやっておかないとまずいな」と思ったら、それもみんな寄ってくるということで、参加される方にとって何が大事なのかということについてメリハリをつけて情報発信していくことが大事かなと。

・それは我々行政がやるのもそうですが、地域の方が町会であったり、地域活動協議会もそうだと思うのですが、そのような場で情報発信をしていくべきと。そこに対して我々が支援をしていくということも必要かなということもご指摘をいただきましたので、そのあたりのところ、これから進めていけたらなというふうに思います。どうもありがとうございました。

(川野議長)

・はいそれでは次に福祉健康グループからお願いします。

(福祉健康グループ発表：発表者 公立大生)

・福祉健康グループからは、皆さんが気になっていること、課題、そして西区の強み、こんな西区にしたいっていうところから、地域や民間での取り組み、協働の取り組み、行政の取り組みというワークシートを皆さんに書いていただいた上で、こちらで意見を出し合っていました。

・その中で例えば、公園などでは今ボール遊びが禁止となっているところもありますが、子供が遊びやすいように、伸び伸び遊べるように、そしてまた勉強もできるように、ということが気になっているという意見もありました。

・強みとしては、区長が地域でたくさん散歩したり、ウロウロしている、地域をよく見て回ってくれているということで、コミュニティを区長がいつもみんなと一緒に作っている、みんなを気にかけて、みんなに優しい、というような取り組みをしていただいているというところが特に素晴らしいということでした。そして開かれた、みんなが住みやすい、誰もが暮らしやすい西区にさせていただいて欲しいという意見もありました。

・また今は高齢者でもタワーマンションなどに住んでいる方は町会にも入っていなかったり、セキュリティが強いので実態の把握というのが難しいという意見がありました。セキュリティが厳しくなっているので、マンションの守衛さんなんか聞いても情報が得られない。「それは個人情報なので、伝えられない」ということで、高齢者のところに実際に行くことができないということ、見守り活動の中で気になっているということでした。

・そしてこんな西区にしたいということでは、安全安心のまちづくりの西区、住み続けたい西区、子供たちが増える西区犯罪のない西区、というご意見が出ました。

・見守りコーディネーターの方々が見守り員さんと連携して、地域の方々の把握につなげ

ています。孤立して住んでいる方もいらっしゃると思いますが、誰1人取り残さないように、という地域にしていきたいということでした。そして若い人も多いので、高齢者と若い方の世代間交流を密に、先人の経験、高齢者の方からも若者も学んで、また若者からも高齢者も学ぶ、というふうにしていきたいということでした。

・それから、例えば公園などでウロウロしている人をよく見かけるということでしたけれども、元気な人は公園掃除とか、ボランティアに取り組んで欲しい。

元気な人にはボランティアを紹介して、そしてその能力を活用していただき、またそれが地域のためになると良いということでした。

・そして総合的に、西区はやはりネットワークの繋がりがあるのが強みとの認識でした。西区も少しずつ変わっていているということで、よりよい西区を作っていきたいというお話でした。以上です。ありがとうございます。

(川野議長)

・区役所から補足などありますか。

(合田保健主幹)

・保健福祉課の合田です。本当に、ほとんど報告していただきましてありがとうございます。

・あと補足するとすれば、各地域で今も非常に頑張って行事をしていただいているのですが、(西区は)本当に若い世代が多いので、やはり町会加入を増やすということでも、その人たちが本当に興味を持てるような行事を企画していきたいということを強くおっしゃっていただきました。

・先ほど、ネットワークができているということで非常にこのグループでは見守り、コーディネーターさんと民生委員さんと保護司さんがいらっしゃるのですが、やはりその見守りコーディネーターさんと民生委員さんとの連携が西区はすごくできていて、情報交換もしっかりできています。加えて、区役所と社会福祉協議会もしっかりバックアップしているというあたりが、話題で出ておりました。

・あと私たちとしても貴重なご意見いただいたと思うのは、医療と介護と福祉の活動にいろいろ取り組んではいるのですが、そこに地域もぜひ入れて欲しいというご意見です。区役所としても、どうやって地域の方に参加していただくのか、というところに取り組んでいきたいと思って聞いておりました。以上です。

(川野議長)

・はいありがとうございます。では続いて子育て・教育グループからお願いします。

(子育て・教育グループ：発表者 公立大生)

・こちらの班では子供の居場所についてと、虐待防止の話と不登校についての3つのトピックを話し合いました。

・子供の居場所についてですが、西区は裕福な家庭が多くて子育て世帯が多い地域である一方、大人に見守られながら子供自身が自由に動いて、子供自身が育つ環境が少ないという問題点が挙げられています。今よりも子供同士の繋がりを強くして、それに応じて親同士の繋がりを拡大していこうという話になりました。

・そういう居場所を作るにあたって、どのように見守り員としての大人を確保するのかという問題と既存の建物をどういうふうに活用するのかという問題が出てきたのですが、そういう大人の確保であったり、予算の問題はありつつも区民センターの利用者がいない時間帯に子供のために開放をしたりとか、プレーパーク、これは現在定期開催をしているのですが、そちらを常設したいという案、また子育てサロンを平日の午前中開催しつつ、夕方時間帯にも開催するというような案が出ました。大阪市の事業として「いきいき」という事業があるので、そちらの活用も必要であるというような話になりました。

・虐待防止についてですが、西区では子育て支援が多い一方で、そうした支援を知らない人たちから見れば支援がないのと同じなので、どのように情報を届けるのかという話が出ました。そういった人たちに向けて子育てに行き詰まった際に、相談できる場所や情報の発信についてインスタグラムを中心としたSNSで発信したり、マンションコミュニティを活用するなど挙げられるとの話になりました。

・最後に不登校の問題についてですが、子供が息抜き可能な場所があんまりないところがあるのが不登校の発生にも影響があるのではないかという話が出ました。現在堀江小中と西中において、子供たちがリラックスできるような場所を作るという事業が週に2回程度行われています。もともと教室であった部屋をソファやブースを置いたりして活用することで子供たちの心をほぐす場所づくりという事業が行われていて、そういう場所をさらに拡大していくのがいいのではないかと、この結論として落ち着きました。以上です。

(川野議長)

・区役所から何か補足などありましたらお願いします。

(川楠教育担当課)

・教育担当課長の川楠です。今、公立大学の岡山さんがしっかりまとめていただいて特に補足することもないかなと思うのですが、委員からご意見いただいた「息抜きをできるような場所が必要」という意見について、子供の遊び場所の確保ということで不登校にも繋がるようなこととして、他都市の事例を委員さんから紹介いただきました。川崎市の事例であったりですとか、あと子育ての関係でありましたら茨木市の事例もご紹介いただき、大変ありがとうございます。

- ・補足といたしまして、広報とか周知の点ですね、しっかりとやっていかないといけないということは認識一致しているのですけれども、何か行政につなぎたいとかどういったところに連絡を入れたらいいのだというようなところで、どこにつなぎたらいいかわからないと、そういうようなご意見がありました。そういったところは、子育て支援室へまずつないで欲しいというようなことも、こちらから申し上げたところでございます。
- ・信頼できる行政ということで、取り組んで参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(川野議長)

- ・ありがとうございます。最後に広報窓口 I C T グループからお願いします。

(広報・窓口・ I C T グループ：発表者 公立大生)

- ・こちらの班では、広報・広聴、そして窓口についての議題が主になりました。その中でも特に広報については皆様から多くの意見が出ました。中でもメインの議題となったのは広報紙に関するものです。
- ・まず課題として挙がりましたのは、ネットで見るデジタルの広報紙が見にくいという課題でした。現状の広報紙では、紙の広報紙をそのままデジタルブックに落とし込んだものが掲載されていて、そこらは手でズームをしながら見なければならず、情報がどこにあるのか、全容が把握しづらいということが課題として挙げられていました。
- ・そこで委員の方々から、テキストがメインのものに変え写真を少し入れるようなページにすれば内容も見やすく、また外国の方が西区には増えているということで、そのような方々も翻訳して読むことができるのではないかと、というような意見が出ました。
- ・またデジタルではなく、広報紙についてもご意見がありました。こちらについては、より多くの人に広報紙を知らせるためにはどうすればいいのかという点で、回覧版で町内会に回せばいいのではないかと意見が出ました。
- ・また広報以外の議題として、広く聞くという広聴と、あと区役所における窓口業務に関する議題もテーマにあがりました。広聴に関しては「市民の声」という制度があるのですが、メールでのフォームにアクセスがしづらいという意見があったので、そこを少し改善して欲しいということでした。
- ・また「市民の声」以外にも直接意見などを区役所の方に伝える制度もあるのですが、そちらの返信が少し遅いという意見もあったので、こちらに関しては区役所の方が、1度確認するということでした。1回送ったメールに返信がなかなか来ない場合は、市民の声にメールを送って、そこから間接的に連絡してもらうという方法もあるということ、区役所の方から提案していただきました。
- ・また窓口業務に関しては、現在その改革としてサービスの I C T 化が進んでいることが挙げられていました。

・加えて椅子や机を西区役所の1階から4階まで木質化して、区役所への来庁者が快適に利用しやすくしている、とのご紹介が区役所からあり、そこに関してはすごく良いのでは、という好意的な意見寄せられていました。  
以上です。

(川野議長)

ありがとうございます。区役所から補足がありましたらお願いします。

(澤田事業調整担当課長)

- ・大変うまくまとめていただき、ありがとうございます。
- ・いくつか補足説明させていただきます。広報紙を町会の回覧版で回したらいいのではないかと、というご意見は確かにあったのですが、連合によっては回覧をそもそも回していない所もあって、そこは地域によって運営が違うのでしょうかってことで。
- ・例えば、町会長会議等で持って帰ってもらうといった提案もありましたが、こういったニーズがあるかというところを一旦把握した上で、もし、ご要望があればそういう方法もありますよねっていう話になっております。
- ・加えて、先ほどありましたICT化が進んでいるので窓口にあまり行かなくなった、ということですが、そうあって欲しいのですが、実には特段ICT化が進んだから窓口に行く回数が減った、というよりはグループの中では特段区役所の窓口になんかしょっちゅう行くようなことはないよね、という話ではなかったのかなと思います。一応訂正させていただきます。

(川野議長)

- ・ありがとうございます。ただいまの各グループからの発表、またその他でも構いませんけれど本日の会議全体通じてご意見、ご質問などありましたら、この場でお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

(委員)

- ・問題はないと思うのですが、(議長、副議長の選任にかかって)推薦で(実際あらかじめ)決まっているということが、なにかもう1つ腑に落ちないところがありました。人選に対して文句があるわけじゃないのですが。
- ・自薦も他選もやりようがないのですよ、新人からすると。それが今までこうしてきたからってことなのかもしれませんが。その手続きが、ちょっと何をやっているのかよくわからなかった、ということがあります。

(澤田事業調整担当課長)

- ・すいません。今のご質問は、議長・副議長選出についてでしょうか。そのあたりは、そ

うですね、今のご意見を踏まえて次回また何か改善できないか、検討させていただき  
ます。

(川野議長)

- ・ありがとうございました。
- ・今回のグループ討議以外で他に質問とかご意見ございませんでしょうか。よろしいで  
しょうか。そうしましたら、グループ討議やただ今のご質問などを私の方で整理させて  
いただきたいと思います。
- ・今回新しいメンバーが入ってこられて、非常に新鮮な感じを持って聞かせていただい  
ておりました。自己紹介も含めて実際、新しい方のお話はすごく興味深く拝見させていた  
だきました。非常に活発な議論が行われたのではないかなと思います。
- ・まずは1つ目の地域コミュニティに関してですが、これはやはりどういうふうに町会に  
参加するのか、してもらうのかってということが一番の課題として挙がっていたと思いま  
す。
- ・今回面白かったのは、口コミとか、町会に入ってこんなことがよかったよ、という経験  
を伝えていくという、そういうこともすごく大事だっていうことは非常に印象に残りま  
した。
- ・それから、実際に町会費がどういうふうに使われているのか。避難所の維持管理、防犯  
灯の管理等々で、どのように使われているのかっていうことを、一般の方たちはよくわ  
かっていないところがあるので、そういうことをきちんと知らせていきましようという  
ことは、大事な提起であるというふうに思いました。
- ・特にコミュニティーとか繋がりということであると、福祉、健康のグループでもやはり  
大きなテーマだったんだ、というふうにお話を聞いて思いました。
- ・特に、タワーマンションとかでしたらその実態がなかなか把握できなかつたり、アクセ  
スがすごく難しいということがあります。例えば孤立とか、どのような状況なのか  
がわからない、という問題、実際に高齢者の方の健康状態とかアクセスとかすごく難し  
くなってきている、といったことがあります。
- ・ただ西区の場合は、ネットワークの繋がりが強いというのが強みで、地域でいろいろ活  
動している方が非常に熱心なので、やはりそういう意味での繋がりは非常に大きいんだ  
なというふうには思います。
- ・後、課題としては若い世代の取り込みですね、各地域の行事に若い世代の参加は非常に  
多いので、興味を持ってもらえるものを通じて、いろいろコミュニティに参加してい  
ただくということも、非常に重要なことだというふうに思いました。
- ・それから子育て・教育のグループに関して、これもやはりコミュニティーとかネットワ  
ークってものがキーワードじゃないか、というふうに思いました。特に子供の居場  
所、子供の遊び場について非常に課題があるのだということが非常によくわかりまし

た。それが不登校に繋がっているかもしれないし、そういった人たちをどうやって地域の中でサポートしていくのかっていうことについても、コミュニティーやネットワークが非常に大事だろうということだったと思います。

- ・それからICT系に関してですが、非常にテクニカルな話だと思いますけれども、やはり広報紙をネットで見るという方も多いでしょうし、そうした意味では見やすさということも大事ですが、やはりテキストから必要な情報を取っていくという意味では、文章とかテキストがメインっていうことが、やはり大事なのかなと思います。外国の人たちが翻訳できるとかですね、今すごくAIとかだと、むしろテキストの方が情報をちゃんと抽出してまとめてくれるっていうことができたりするので、そういう意味での工夫も必要かなと、確かにそうかなというふうに思いました。
- ・他にも諸々ご意見が出ておりましたが、先ほど区長さんが地域のコミュニティーをつくる上で非常に大きな役割を果たしている、という話がありました。私たちも去年夏祭りに学生たちと一緒に参加させていただいたのですが、区長さんが頻繁に地域に出て行かれるということが非常に印象に残っています。そういった意味で、区長さんの役割っていうのはすごく大きいのではないかとこのふうには思っていたところでしたので、私も共感できました。
- ・区役所はですね、この議論を十分に踏まえて令和8年度の取り組みを設計するとともに日常の業務に当たっていただければ、というふうに思います。よろしく願いいたします。
- ・まだまだご意見がおありかと思いますが時間もありますので、次第の5、その他の1番目、区政会議アンケート結果について区役所からご報告をお願いします。

(澤田事業調整担当課長)

- ・では私から説明させていただきます。お手元の資料3をご覧ください。
- ・こちらが区政会議委員アンケートの集計結果ということで、前任期の委員様にお願いしたアンケートです。区政会議の運営方法等についてアンケートした結果を手短に説明させていただきます。
- ・1点目、大阪市全区で確認すべき項目として、「西区区政会議は現在、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされていると思いますか」という問いで、肯定的回答が93.8%とかなり高い評価をいただいております。
- ・同じく2点目、「区政会議において意見や要望、評価について、適切にフィードバックが行われていると思いますか」という問いですが、こちらについても肯定的回答割合が87.5%と、かなり高い評価をいただいております。この2点目は、西区の運営方針の目標の1つにもなっております、目標は達成できております。
- ・3点目以降は自由記載の形になっておまして、こちらは西区オリジナルの問いかけとなっております。全部読み上げるとかなり時間かかってしまいますので、抜粋して1つ

だけご紹介させていただきます。

- ・ 3点目です。令和7年度第1回西区区政会議では防災という一つの議題でグループ討議を実施しました。この点についてご意見を求めたものです。主な意見ですが、「大阪市のサイトに掲載されている地震の想定被害が平成25年度のままとされている。人口や建物、棟数がその当時から大幅に変わっているので、更新した方が良い。」というご意見をいただきました。
- ・ この点について私もそのサイトを運営している危機管理室という大阪市の部署に確認いたしました。同室の回答ですが、  
「南海トラフ巨大地震の被害想定の概要について、今国が更新した情報を作成しております。それに伴い大阪府が府下の被害想定を今作成している最中とのことです。今年度末、3月末までには大阪府の方で被害想定をまとめるので、大阪市はそれを受けて大阪市の想定被害を更新するという事なので、少し古くなりますが、現時点では平成25年度の情報が最新版となっています。」ということです。
  - ・ 来年度中には情報が更新されると思いますので、また、更新されましたら皆さんご覧いただけたらと思います。
- ・ 他のご意見につきましてはまた、適宜、後程ご覧いただけたらと思います。資料3についての説明は以上でございます。

(川野議長)

- ・ そうしましたら次にその他の2番目、令和7年度第1回教育会議について区役所から報告をお願いします。

(川楠教育担当課長)

- ・ 教育担当課長 川楠です。
- ・ 資料が令和7年度第1回西区教育会議資料という横置き資料になっております。ご覧願います。
- ・ この会議は令和7年10月3日に開催をさせていただきました。教育会議の委員、学校協議会からご推薦いただいた方々に集まっていたいただき、地区の関連の教育政策であったり、企業連携の取り組みであったり、または学校再編についてといった、そういったテーマでご説明しご意見をいただいたところでございます。
- ・ 資料のご説明ですが、1ページ、右下に1と書いてあるページに予算のご説明がございます。区長は区の担当教育次長、教育次長としての役割も担っておりますので、そういったところへの予算もついております。
- ・ そちらの方で中学生の英語力の向上ということで、英検を受験できる費用の補助をしております。
- ・ 2段目です。民間事業者を活用した課外学習事業ということで、夏休みの期間に5小学

校5年生6年生、中学生を対象に、学習塾等の事業者が支援指導をするというような事業をしております。西中学校で教室を持って、また西区民センターの方でも教室を開いて、そちらの方で実施しているところでございます。

- ・次のページが、区長自由経費ということでございまして、網掛けの部分が今年度の新規になっています。
- ・一番下です。子供の体力・運動能力向上支援事業ということで、小学生の体力向上、スキルアップを目的として、小学校の教員に研修であったり、実技指導を行うインストラクター派遣するというような事業でございます。
- ・繋がる・つなぐ子供支援事業ということで、不登校支援事業実施しておりますが、こちらの方はペーパーはございませんが、ご説明させていただきます。
- ・大阪市全体ですけれども、2段目、外国と繋がる児童生徒支援事業ということで、かなり外国籍の子供さんが増えてきているということがございますので、公立大学の留学生のご協力いただきまして、各学校に派遣して支援をしているというような事業をしております。
- ・3番目、学校活性化夢事業ということで、市立の中学校3校の生徒さんを対象に、課題に対する改善策を生徒さんみずからご提案いただきまして、その提案内容に応じまして区役所が支援していくというような事業でございます。
- ・この一番下に不登校支援事業がまた出てきますが、こちらの方は不登校支援につなげていくということで、保護者や地域住民に対するワークショップでしたり、講演会をやっていくような事業でございます。
- ・3ページでございすけれどもこちらが、生涯学習ルーム事業でありましたり、学校体育施設開放事業でありましたり、そういった各地域が校区ごとの取り組みに予算をつけているところでございます。
- ・4ページ、こちらの方は区CM事業経費ということで、局の事業ではございますけれども、区長が区シティーマネージャーということでこの事業に関わって実施しているところでございます。
- ・5ページでございす。2地域で企業連携の取り組み進めているところでございまして、こういった企業さんからご協力をいただいているところでございます。一番下の3番目のところですが、網掛けになっているところは先ほどご説明しました外国に繋がる児童生徒支援事業でありましたり、西区の事業で、特に、今年度ご寄付をいただいて支援いただいているような企業さんでございす。
- ・6ページは、「児童・生徒推計」ということで参照ください。
- ・7ページ以降ですね、「九条地域の今後の学校再編」ということで学校再編の議論の取り組み経過を掲載させていただいております。
- ・8ページです。直近では8月4日に学校適正配置検討会議を実施して参ったところでございす。

- ・9 ページ、これもご参考ですが、学校再編整備後の九条東小学校の跡地となる校地活用の想定スケジュールも掲載させていただいております。
- ・10 ページ、九条地域の今後の学校再編について、今後検討していく必要があるものを掲載して、スケジュールとして示しております。
- ・最後別紙でございますけれども、こちらが先ほど申しました新規事業の中で、繋がるつなぐ子供支援事業、要は不登校支援ということでございまして、事業実施のポイント、①②③をご覧ください。
- ・①は訪問支援ということで、不登校傾向にある子供さんのご家庭でありましたり、子供さん、保護者に対しまして信頼関係をつくりながら、各家庭を訪問させていただくというようなことをやっております。
- ・②では、学校内居場所ということでモデルの学校があるのですが、その学校の中で空き教室等で居場所を設けて、教室には入れないけれどもそこには登校できるというよな、ことを目指して居場所づくりをして支援しているということです。
- ・③は先ほどもありましたが、ワークショップや講演会を継続して実施しているということでございます。事業イメージとしてはこの下の絵を見ていただきまして、また、わからないことがございましたら、区役所まで問い合わせいただけたらと思います。以上です。ありがとうございました。

(川野議長)

- ・そうしましたら最後になるのですが、区政会議の本体とはちょっと別件になるのですが、私ども大学からご案内させていただきたい件があります。
- ・まずは大阪公立大学で私の研究室が行っている取り組みへの参加についてお知らせさせていただきたいと思っております。お手元の資料の5番なのですけれども、大阪公立大学の事業として「共創プラットフォーム事業」というものを立ち上げております。
- ・きっかけとしては私が区政会議に参加させていただいてもう3年ぐらいになるのですけれども、皆さんのいろいろな議論を拝見させていただきまして、その中でいろんな議題の他に、ご自身がいろいろ問題意識を持って参加されている方がたくさんおられ、そうした議論というのもまたちょっと区政会議とは別に、いろんな形のお話をお聞かせいただければ、という思いからです。
- ・例えば日常的には対面ってなかなか難しいのですが、電子上のプラットフォームでは先ほど市民の声ってありましたけど、いろんな意見をこういう、Web上とかでお寄せいただく、そういった形の仕組みを今作っております。
- ・ご関心のある方には是非ご参加していただければというふうに思っております、お声掛けをしているところです。
- ・前回の区政会議の委員の方にもご参加いただきまして、今月からスタートするところですので、11月12日に公立大森之宮キャンパスで最初の会合を持たせてもらいます。も

し、参加いただける、またはご関心がちょっとあるかなっていう方がいらっしやいましたら、あとご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

- ・そろそろ時間も参ってきましてので会議をこれで終了したいと思っておりますありがとうございます。

(澤田事業調整担当課長)

- ・川野議長、議事進行ありがとうございます。皆様今日は活発な意見交換と議事進行にご協力いただきましてありがとうございます。では最後に三村区長からご挨拶申し上げます。

(三村区長)

- ・三村です。今日は長時間にわたる議論を活発にいただきまして本当にありがとうございました。私も4つのグループを回らせてもらいましたが、新しい方も多く、何を話したらいいのか、この話であっているのか、そういうものを感じながらもお話いただいて、議論の中に新鮮な風を入れていただいたというふうに思っております。

- ・これからもそういったスタンスで、何かわからないことがあれば聞いていただき、思った意見はしっかりお伝えいただければと思います。

- ・私の方からは先ほどの報告で出てきたワードを何点か取り上げ、考えや想いをお話させていただきます。

- ・まず褒めてもらったのかどうか、地域をウロウロ散歩しているというお話があったのですが、これは私のポリシーとして実施しています。皆さんご存じだと思いますが私は以前銀行におりました。銀行は取引先の実態をどれだけ掌握できるのが非常に大事になってきます。その時に決算書を見るのですが、これで大体わかったつもりの人が多いのですが、私はペーパーを見た上で工場見学に行くとか、販路を見に行くとか、また仕入先を見に行くとか、そういうことを合わせてデータ上のものと自分が肌感覚で感じたものを抱き合わせて実態掌握を進めていく、とこういうことにずっと取り組んできました。区長になっても同じようにやっております。

- ・皆さんから報告をもらい、いろんな歴史の経緯をペーパーで見るとあわせて、現地に行ってどういった方が頑張ってくれているのか、どう思っているのか、ということをお伺いして実態を把握していく、ということをお心掛けております。体力は倍かかるのですが、実態掌握や皆さんへの理解を深められていると思っております。これからも続けていきたいと思っておりますので、邪魔者扱いしないようにお願いします。

- ・それから不登校について。これはずっと区政会議で言い続けている大きな課題の1つです。数字で申し上げますと、小学校が大体2%ぐらいの不登校比率で、これが中学校になると11%に跳ね上がります。

- ・不登校になってしまったお子さんやご家庭に対しては個別の支援をしっかりとやっている

のですが、今年度からは不登校を生まない取り組み、未然防止にいろいろ取り組んでいます。

・やはり小学校・中学校で大きな環境変化があって、中学校は特に思春期にもなるので、非常に敏感なタイミングです。その大きな環境変化をどれだけならしていけるのか、そこは小学校から中学校へ変わる大きなギャップになっていると思うので、そのギャップをどう埋めていけるか、ということに副区長以下、教育担当課長、学校も交えて今取り組んでいるところで、何とか減らしたいと思っています。

・それから広報紙ですが、デジタルブックだと見にくい、というご指摘は確かだと改めて思いました。広報紙については様々な取り組みを実施しております。一面が最近変わってきたと感じる方がいたら嬉しいです。従前なかなか広報紙を見ない方も多かったので、手に取ってもらえるように一面の写真はできるだけ人を載せるように、できるだけ地域の方に入っていただくとの観点でやっています。今月は小さい子供の写真で非常に愛らしい写真になりました。

・また新たな取り組みとして、区民に参画してもらうよう、フォトコンテストで写真を広く募集し、その中から優秀作品の写真を広報紙に採用します。そうすることでフォトコンテストに応募いただいた方は必ず広報紙を見てくれると思っています。そういった取り組みで参加者を増やしていこうと進めています。

・会議の冒頭で、万博が終わった今そのレガシーを残していきたい、というお話をいたしました。少しお話をさせていただきます。

・万博で夢洲に行きますと、世界を見ることで未来を感じられる、こういう場ではなかったかな、というふうに思います。西区の未来を担ってくれる子供たちに世界を直に感じてもらえる、そんな取り組みをしていきたいと思っています。

・具体的にはまだ申し上げられないのですが、これから形にしていきたいと思っていますので、楽しみに見守っていただければありがたいと思っています。

・それに万博ですが、あれだけの大盛況で大行列になったのですが、最初はもうネガティブな評判もありました。後半になると並ぶことも楽しいといった、そんな情報が結構溢れていたと思います。例えば朝6時から一人で並んだとしても、近くの人たちといろんな会話ができるという万博攻略法、SNSで「こんなのが載ってますよ」、といったコミュニケーションが取れたのも、大阪で開催したからこそだというような方々がたくさんいらっしゃいました。

・電車が止まったとき帰れなくて大変なことも、「オールナイト万博だ」と逆にそれを楽しんでしまう、これも大阪だからこそだ、というような意見もあり、そういった繋がりやコミュニケーション、地域を誇りに思うという感情、そういったところを万博がこの大阪に残してくれたのではないかと考えています。

・そういったコミュニケーションや地域を誇りに思える、そんなイベントをずっとやっていきたいな、というふうに考えております。これも私の思いだけなので、また具体化して

いければというふうに思っています。よろしく願います。

・加えて、私がずっと言ってきた地域コミュニティの活性化ということですが、基盤としてはやはり町会が一番組織として大きく、支えてくれていると考えています。これは4年間いろいろな行動してきた結果、やはりそういうふうに思っています。

・ただ現状は大きな課題があって、やはり加入率の低下や人材不足ということを何とかしないといけないのですが、なかなか妙手が浮かばないという状況ではないかと思えます。

・先ほどご意見で、町会の会計が不透明であるとか、情報発信がないだとか、そういう意見がありましたが、それらを解消していくことが1つ重要だと思っています。

・例えば民間企業で言うとアマゾンや楽天など、会員を募る組織というのはその組織自体の魅力化に取り組んでいます。魅力があるので会員が増えていく。だから町会はどうかという観点で考えると、やはり課題がある一方、やるべきこと、やれることはまだまだたくさんあると思っています。ただこれを誰がやるのか、ということはまだ問題になってくるのですが、取り組んでいかないといけない、と思っています。

・それと同時に、地域を回っていると本当にその地域で町会とは別にいろんなイベントを実施し、賑わいを作ってくれている方々がたくさんいらっしゃいます。我々としてはそういった方々に、支援やサポートをさせてもらい、もっと頑張ってもらえるような、そんな取り組みが必要だと思っています。

・あわせて、西区は住民と同時に企業も非常に多い地域で、企業の皆さんとお話すると地域に貢献したい、との声をよくお聞きします。例えば60周年、80周年、そういった周年を迎える企業のオーナーの多くは、「ここまでこの会社を大きくしてくれたのは地域の力で、地域にお世話になりました」と。何を世話になったのか、というところは具体的にあるわけではないのですが、「とにかくここで仕事をさせてもらったことに感謝」といった企業もたくさんあるので、そういった企業も取り込みながら、地域コミュニティを作っていきたいと思えます。

・したがって町会は、真ん中にどんと構えていただき、それ以外の参加者をどんどん増やしていき、コミュニティとして完成させていく、こういうことが必要という認識で取り組んでおり、重要性も改めて今感じているところです。

・冒頭で申し上げましたとおり、私の任期はあと5ヶ月弱ということなので、できることはそう多くはないとは思いますが、後につなげられるようにまだまだ動いていって、何か西区のためにできることをやっていきたいと思っております。

・この区政会議もあと1回、次がラストにはなるのですが、皆さん方の貴重なご意見をいただきながら、あと5ヶ月取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。今日長時間にわたるご議論、本当にありがとうございました。私からは以上です。

(澤田事業調整担当課長)

・それでは皆様、長時間にわたり、ご意見を賜りありがとうございました。

・冒頭にも申し上げましたように、本日の会議の内容は、西区のホームページで後日公開いたしますのでご了解願います。

・次回の日程でございますが、年明け1月29日木曜日を予定しております。改めてご案内させていただきます。本日はお疲れ様でございました。

・これもちまして、令和7年度第2回西区区政会議を終了いたします。ありがとうございました。どうぞお気をつけてお帰りください。